アロエを育てる日々

高井 珠希

「もしウチらが逮捕された場合…」声を潜めて夫に尋ねる。「名前の後ろは（無職）になるのかな？」

「うん…あるいは（自称自営業）とかだろうな」と夫は答えた。

6月のある晴れた日曜日、陽だまりの中で犬を優しく撫でながら、夫婦は暗澹とした気持ちに包まれていた。

「やはりそうだろうね」と私は呟いた。「ちゃんと仕事しているんだけど」

決して犯罪行為に手を染めているわけではなく、近々逮捕されるような予定もないが、法的には「無職」と規定される現状を憂い、ついそんなことを考える。

「ご覧、庭が散々だよ」前方を指差す私。ご近所は年配の方が多いせいか、どこの家の庭も綺麗に手入れされている。それに比べ我が家の庭は荒れ放題、まるで空き家の庭だ。

「ああ。これ、わざと」

えっせい

え！そうだったの？知らなかったよ。で、どういう意味かと問い質すと、「こんな荒れた庭の家に泥棒に入ろうなんて誰も思わないでしょ？防犯のため」と夫はにべもなく答えた。

「へえーすごいね。すごい先見の明があるね。でもさ、せめて庭くらいは生活感を出したいわ」

「そうかな」

「うん。なんか植えてみようよ。アロエなんかどう？食べられるよ」

「へえ。僕は食わんけど別にいいよ」

「じゃあ、早速買いに行こう」

と、いうわけでアロエを買いに行った。買いに行ったはいいが、どこに売っているかわからない。

わからないので、それらしい店に入って大きな声で聞いてみる。アロエはありますか。

「アロエ？キダチかね？」と、店の人。

「いえ、ベラのほうです。食べますので」と私。

ああ、ベラね。と言い残して店の人はいかにも店の人らしく、店の人でないと入れない店の奥へと消えたのであった。

待つこと三分、戻ってきた店の人は、「ない。」と、簡潔に述べた。そしてこうも言った「あれうまいんだよね。料理にも使えるし」

そうなんです。クセがないらしくて…まぁ他当たってみます。と言って帰ろうとすると、店の人は、「あたしは食ったことねえんだけどさ」とつまらなそうに呟いて奥へ引っ込んだ。

結局アロエは後日通販で購入した。到着するや否や、いそいそと夫婦で鉢植えにし、庭の一等地に配置する。日当たりも抜群、いつか庭を埋め尽くすほど繁殖してくれるに違いない。

「ふふ」思わず気味の悪い笑い声が漏れる。「これで毎日アロエヨーグルトが食べられるね」

「ちょっと待った」と夫。「アロエをよく見てご覧、考えてみな。毎日むしって食ってたら大体二週間でなくなるよ」

え？考えてみりゃ、そうだな…。そうなったら元の木阿弥だ。ここは我慢のしどころ、というわけで、今は食べることもせずひたすらにアロエを育てる日々である。

（寄居町）

アマチュアバンドコンテスト「たなバトル２００８」

8月2日　ふじみ野市

50年以上の歴史を誇る、ふじみ野市「かみふくおか七夕まつり」が8月2、3日開かれるが、それに合わせてアマチュアバンドのコンテスト「たなバトル」が、2日午後1時半から5時まで市内上福岡中央公園内ステージで行われる。

同コンテストは、平成13年度から4年間開催されたが、その後市の合併などにより休止となっていた。今回4年ぶりに復活する。

アマチュアバンドであれば誰でも参加でき、デモテープ審査を通過した6バンドがバトルを繰り広げ、優勝、準優勝、ベストボーカル賞、ベストギタリスト賞など表彰される。

04年のコンテスト

小児医学研究を支援

ヤオコー・川野会長

スーパー、ヤオコー（本社川越市）の川野幸夫会長は、自ら設立した財団を通じて小児医学研究に対する助成を続けている。昨年までで延べ二百名に助成金を交付、今年度（第19回）も一般枠、若手枠合わせ、計十五名の対象者が決定した。

川野会長は、同社社長であった一九八二年に長男の正登君をウイルス性脳炎という病気で亡くした。それを機に小児医学の向上に貢献しようと、私財（ヤオコー株五十万株と三億円）を投じて九〇年に「川野小児医学奨学財団」（川野理事長）を設立した。

同財団は毎年、優れた小児医学の研究者に対する研究費の補助、小児科医師を目指す医学生への奨学金の貸与などを行っている。研究費助成は、埼玉県内の高校を卒業するか県内に在住する研究者が対象で上限三百万円、毎年十名程度に支給。昨年度から、別に若年研究者枠も設け、合計約三千万円の助成金を交付している。

今年度交付は、一般枠は辻陽一郎氏（防衛医科大学校）、浜野晋一郎氏（県立小児医療センター）ら十名、若手枠は三浦健一郎（東京大学医学部付属病院）ら五名。来年度分は今年九月末から十一月にかけて公募する。

奨学金は県内の高校を卒業した医学生が対象で、今回新たに五名に支給が決定した。

この他、毎年小児医学において優れた業績をあげた国内研究者に「小児医学川野賞」（賞金百万円）を授与しており、今年度は三名に贈呈された。

医学研究分野における企業の社会貢献活動は非常に珍しい。

丸沼芸術の森 美術鑑賞会（朝霞市）

朝霞市上内間木の作家村、「丸沼芸術の森」では、毎月美術鑑賞会が開かれている。所蔵するコレクションを美術愛好家などに公開し、地域文化の向上を図るのが目的だ。

丸沼芸術の森は、丸沼倉庫社長の須崎勝茂氏が若い芸術家に制作活動の場を提供するために二十五年前に開かれた。現在は彫刻・陶芸・版画・絵画など十一名の作家が活動する。また、アンドリュー・ワイエス、ベン・シャーンをはじめ国内外のコレクションを多く所蔵している。

6月21日の鑑賞会＝写真＝では、所蔵する画家・藤田嗣治の作品を披露。須崎氏は挨拶で、同所にアトリエを持つ村上隆氏の作品の一つが最近国際的な美術オークションで16億円で落札されたニュースなどを紹介。大竹輝明学芸員が藤田嗣治についてレクチャーした後、参加者同士芸術談義に花が咲いた。

紹介 募集 案内

資料館でスタンプラリー

夏休みに親子で資料館を回り、スタンプを集めましょう。

入間東部地区文化財保護連絡協議会では、資料館スタンプラリーを行っています。

2市1町の参加7館（ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館、同大井郷土資料館、同福岡河岸記念館、富士見市市立水子貝塚資料館、同難波田城資料館、三芳町歴史民俗資料館、同旧島田家住宅）にあるスタンプを集めると、オリジナルペーパークラフトがもらえます。

問い合わせは、上福岡歴史民俗資料館（049・261・6065）まで。

栗原天路先生の「写経」講座

淑徳大学公開講座（池袋）

写経は元々は仏道修行ですが、病気平癒、先祖供養、あるいは心の安らぎを得るための行として広く行われるようになっています。

本講座では、短いが仏法の大意が述べられ書きやすいお経である空海の「般若心経」や「巡礼歌」などをわかりやすく解説、合わせてそれらを実際に書く実技講座として開催いたします。

講師栗原天路先生は、都留文科大学講師、朝日カルチャーセンター講師、書道一元会同人・理事・審査員。

☆日時・8月21日、22日各10時～12時　☆定員・50名　☆受講料・5千円☆申し込み・淑徳大学池袋サテライトキャンパス03・5979・7061

編集雑記

埼玉県和光市駅と東京・渋谷駅とを結ぶ地下鉄副都心線が六月中旬開業し、東武東上線の沿線住民の東京へのアクセスが一段と良くなった。東京の三大副都心を縦断する新線は、埼玉県民にとって極めて魅力的である。筆者も開業初日、様子を見てみようと東新宿駅で乗車券を買ってみたが、混雑が激しく、乗りそびれてしまった。

それにしても「日本の地下鉄網の充実ぶりは、すごい」の一語に尽きる。クモの巣を張ったような路線は、他国に例がないだろう。東京・大手町駅には地下鉄が五路線も通っている。

六月下旬にマレーシアを旅した際、クアラルンプールの地下鉄に乗ってみた。

東京の十三路線とは比べられない。他の路線への乗り換えも不便である。鉄道網が整備されていないから、市民の足はもっぱら車やオートバイ。通勤時間帯の中心街の道路渋滞は東京や大阪よりひどい。

同国は渋滞対策を公共交通機関の整備ではなく、首都機能を中心街から遠く離れた地域に移転させて対応しようとしている。何もかも東京に集中させている日本では、大震災の時のリスクは計り知れない。便利さの向上は危険の増大と背中合わせである。「日本を見習え」という政策で発展著しいマレーシアではあるが、今度は日本が見習う番かもしれない。

泉沢 勉

［編集スタッフ］
編集・発行人
金子 豊治郎（雄一）
泉沢 勉　岩瀬 翠
森野 範子　山下 龍男
金子 敏満　石橋啓一郎
新美 知驍　高井 珠希
江端 美喜　倉持 幸代
城西大学社会システム学科新聞編集部
［寄稿］　國分 紀子
大塚佳代子　葵 和歌

PR記事の募集

本紙では、団体、サークルなどの紹介、会員募集、イベント告知など読者からのPR記事を募集します。情報をお寄せください。掲載は原則として定期購読者に限らせていただきます。

広告の募集

本紙は、今後順次広告を掲載していきます。ご検討いただける場合は、ご連絡をお願いいたします。

〈料金例〉 33mm*35mm 5,000円
33mm*70mm 10,000円
記事下・半2段 20,000円
連続掲載の場合は割引
詳しくは本紙HPをご覧ください

大学生・一般向け
全 140 講座以上
2008年度 講座案内
教養・生活・健康
TIU市民講座
ビジネス、医療・福祉
外国語会話(6ヵ国語)
パソコン、就職対策
国家資格取得、等
後援／川越市教育委員会
お問合せ・資料送付無料
東京国際エクステンションセンター
http://www.tiu.ac.jp/extension
Tel.049-234-2758 Fax.049-234-2759
〒350-1197川越市的場北1-13-1

埼玉医科大学市民公開講座
平成20年度テーマ「加齢と病気」
身近な病気の話題を取り上げ、一般の方々を対象として市民公開講座を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。
場所　埼玉医科大学かわごえクリニック 6階 大会議室
川越市脇田本町21−7 電話：049-238-8111(代表)
受講料　¥1,000(資料代等)　＊初回の方のみ
【お申し込み・お問い合わせ先】
埼玉医科大学 医学教育センター 市民公開講座係
電話：049-276-1707 FAX：049-276-1750 e-mail：lecture@saitama-med.ac.jp

淑徳大学公開講座
2008年度夏季 受付中
8月の講座から
◎栗原天路先生の「写経」講座（8月21日・22日）
◎魅力を引き出すプレゼンテーション（8月28日～9月25日の金曜日、全4回）
淑徳大学は「共生」を建学の精神として広く教育活動を展開しています
＜問い合わせ・資料請求＞
淑徳大学エクステンションセンター
171-0022 豊島区南池袋1-26-9 MYT第2ビル7F
TEL 03-5979-7061 FAX 03-3988-7470
E-mail ext@ccb.shukutoku.ac.jp